

2007 年度

科目名 教育心理学	対象学科・学年 文学部全学科 2 回生 人間人社 2 回生	担当者 井上 徹
授業テーマ 教育に関わる心理学を学ぶ		
授業の概要と目標 教育心理学は、教育活動や教育事象を心理学的に研究し、適切な教育効果をあげるのに役立つ心理学的知見と技術を提供する学問である。本講義では、教育心理学の 4 つの主要な研究領域である、発達、学習、適応、評価の 4 つの面から、児童・生徒と教育に関わる様々な心理学の考え方を紹介する。 教育心理学全般にわたる基本的事項についての理解と知識習得を目標とする。		
評価方法 学期末筆記試験 70% + レポート 30% + 受講態度についても加味して評価します。 私語をするものは授業を妨害するものとみなします。		
テキスト 精選コンパクト教育心理学－教師になる人のために－	著者 北尾倫彦他	出版社 北大路書房
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 教育心理学とは何か 授業へのオリエンテーション、目的、対象、方法、関連する資格 I. 子どもの発達の理解 2. 発達とは何か 遺伝と環境、成熟説と学習説 3. 発達段階（1） 乳幼児期：シエマ、象徴的思考 4. 発達段階（2） 児童期：保存の概念、操作 5. 発達段階（3） 青年期：思春期発育、自我同一性 6. パーソナリティの理解 自己概念、社会的スキル - II 学習のプロセスと指導 7. 学習とは何か 条件付け、モデリング、プログラム学習 8. 学習への動機付け 内発的動機付け、自己効力感 9. 学習の方略 発見学習、有意味受容学習 10. 学習指導と個性 認知スタイル、適正処遇交互作用 - III 生徒の理解と指導・評価 11. 学級集団の心理 集団の構造、小集団活動、リーダーシップ 12. フラストレーションと葛藤 適応のメカニズム、欲求不満耐性 13. 問題行動の理解と対応 不登校、学習困難、非行 14. 心身障害児の心理と教育 知的障害、視覚・聴覚障害、肢体不自由 15. 教育評価 診断的評価、形成的評価 新しい評価方法		